

Move Mountains

5年生通信

12月2日80号



○ミュージカル観劇は有酸素運動になる

11/29 劇団四季ミュージカル「バケモノの子」を観劇してきました。

生で観劇していると、それだけで心拍数が上がり、座っているだけで30分の有酸素運動と同程度の健康効果があるといった研究もあるそうです

この研究で興味深かったのは、**ビデオで見てもそこまで心拍数に変化は無い**と結果が出たこと。ピアノ演奏でも同様の結果は出ていて、生で見ることに重要性が示されます。

子どもの言語習得も同様で、ビデオの音声だけではダメで、人間が話しかけないと言語習得できないそうです。

今回の観劇会も、**生で見たからこそ情操教育の面で計り知れない効果**を発揮することと思います。

あまりに良かったので、またご家族で見に行かれる方もいるとか。本当に素晴らしい作品でした。

以下感想です。

- ・もう最初から迫力満点で、けんじくんの演技も上手で、元ネタを知らない人でも楽しめるなあと思った!
- ・大きい画面では、色々見たことはあるけど本物では、見たことなかったからすごかったです。今度本物じゃなくて画面で見たいです。
- ・バケモノの子の演技をしている人の迫力がすごくて自分もバケモノの世界に入った感じがした。特にすごかったところは家が熊鉄ときゅうたが修行をしている時に急にきゅうたが成長したところがどうやってやってるんだらうと驚いた
- ・バケモノの子を初めてみて目の前で行われている演技を見ると自分までバケモノの世界に入ったような感情でどれもこれも迫力がありとても面白かったです
- ・熊徹が宗師様の神になる権利を借りて剣に変わって蓮(きゅうた)をサポートするところがすごく感動した。あとすごい迫力があってものすごく練習してるなーという事が感じれた

- ・劇のレベルが高かった!(ビルが回ったりとかしていた)
- ・歌がみんなすっごく透き通るような声でとっても素敵でした ✨
- ・一人一人の感情表現が舞台上で表せていました。
- ・感動的な演技もありましたが、特に子役の演技や歌が、とても感動的でした
くまてつの声が太くて、どうやったらその声が出せるか気になった
- ・最初は「1人で生きる」と言っていた蓮が、くまてつと出会って色々な人に支えられながら強くなっていく姿が、すごいかっこよかったです!
- ・舞台が動いたりしてもものすごいプロジェクターなどの色が写り、実際の映画を見ているようだった。特に回る舞台のアイデアがすごかった
- ・歌で気持ちを細かく表していて、みんな歌声がとても綺麗でした。演技がとても上手で分かりやすい演劇でした !! とても感動しました !!
- ・舞台が街や怪獣の街など色々な場所が変わるから面白かった。歌がとてもうまかった。

演劇といえば、「演劇入門 生きることは演じること」とてもおすすめの一冊です。

舞台上に立つ人々がどんなことを考えているのか、どんな練習をしているのか、脚本をどのように作っているのかといったことを知ることができます。



おもしろかったのは、「劇場では客席まで完全に巻き込むことができると、**舞台から客席まで全員の呼吸が同じになる**」といった表現。

確かに、教室でもそんな瞬間があります。考えることが完全に一致し、一体感をもつ感覚。この本で言語化されました。

また、舞台俳優は常に足先まで見られているし、一発勝負だから、テレビや映画しか出たことない人に負けるはずがないといったことも書かれていました。たしかに、切り取って編集できない、緊張感が全然違いますね。

☆お便りフォームはこちら☆

<https://forms.gle/ndGkDHTYcmB1bWyU9>

